

# 研修視察の意見・感想

氏名	定方 英一
委員会	総務委員会
視察年月日	平成 23 年 7 月 6 日（水）～7 日（木）
視察先	岩手県花巻市・岩手県盛岡市

## 花巻市 ＊合衆市イーハトーブ花巻構想の 取り組みについて

### 1、はじめに

花巻市は岩手県のほぼ中央に位置し、06年に3町と合併し人口10万人超の新「花巻市」になりました。

イーハトーブとは宮沢賢治の造語で理想郷を指す言葉です。

「早池峰の風薫る、安らぎと活力にみちた、イーハトーブはなまき」を将来都市像に向け、市民と共に理想郷づくりを進めている市です。



### 2、事業

平成19年度からスタートした、「小さな市役所構想」。

この構想を通じて、市内27か所の小学校単位とする、コミュニティ振興センターを設置し、職員を2名配置致しました。

コミュニティ振興センターの役割は、

- 1) 地域づくり、コミュニティ活動の拠点
- 2) 地域住民に身近な生涯学習の拠点
- 3) 窓口業務（住民票、印鑑証明書等の発行）

であります。

この、「小さな市役所構想」のもと、各地域の特性を生かした活動が活発になりました。

地域住民主体の「コミュニティ会議」も、各地域で体制づくりも整い充

実し、地域主権のまちづくりになりました。

平成 23 年度からは 27 の地区の集合体を花巻市と位置付けた「合衆市イーハトーブ花巻構想」に取り組んでいます。

#### 地域づくり交付金

「コミュニティ会議」が地域課題を解決するための費用は、総額 2 億円を地域づくり交付金として交付します。（毎年 2 億円予算）

交付金は、均等割り（50）、世帯割（35）、面積割（15）により 200 世帯 439 万円から 3,000 世帯 1,208 万円と大小の差はありますが「コミュニティ会議」で自由に使えます。

### 3、まとめ

コミュニティ会議の中心になる人は、と尋ねたら、区長 OB が多いようでした。

花巻市では 221 の行政区があり、そこに、27 のコミュニティ会議を立ち上げ、地域主権のまちづくりを進める。

名前も「合衆市イーハトーブ花巻構想」さすが、宮沢賢治を輩出した、花巻だからこそ、と思いました。

さて、これを、わが伊勢崎市にあてはめたら如何だろう。

市長は均衡ある地域の発展を掲げているが、必ずしもそうではない。

合併後に於ける、アンケート調査でも明らかである。

合併の時、地域審議会の設置が論ぜられたり、名前も伊勢崎にこだわらないと言う話もあったり、新市建設計画は幻であったり、

各町村の支所が益々住民から遠くなっている現状を考えた時、この「合衆市イーハトーブ花巻構想」は的を得ている政策で在ると思います。

人と人との結びつきが希薄に成っている現状を踏まえた時、コミュニティ会議は必要不可欠と考えます。

イーハトーブとは行かなくも、学校区単位での取り組みも検討の余地はあると思ひ帰路に着きました。

# 盛岡市 ＊市税コールセンターについて

## 1、はじめに

盛岡市は岩手県の中央部に位置し、人口30万人で平成20年4月に中核市に移行しました。南部盛岡藩の城下町として、また、岩手県の県庁所在地として、多くの先人が築いた礎のもと、今日まで発展してきた市です。

「杜と水の都」として知られる盛岡市は、岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川や中津川、雫石川などのいくつもの清流が市内を悠々と流れ、日本一のハンギングバスケットなどで彩られた、まちなみが美しい「花と緑のガーデン都市」として、住んでいる方や本市を訪れる多くの方々に、やすらぎと快適な空間を提供しています。



## 2、事業

市税コールセンターを設置し、電話による納付の呼びかけ等、催告業務を民間委託するものです。

納付忘れ等の初期滞納事案に対する、早期接触が可能となり、早期の滞納整理と収納が図られるとともに、徴収職員の滞納繰越事案等への注力により、収納率向上を図るものです。

コールセンターは、管理者1名、オペレーター2名体制で、運営経費は1,400万位を予定しています。

対象税目は、市県民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・国民健康保険税で、現年度分だけの滞納事案で1期30万円未満が対象です。対象件数は一般税（3税）23,000件・国保税22,000件月に3,500件前後を予定しています。

導入先進地の仙台市では、1,970万円の運営経費に対し、収納効果が9,600万円あったそうです。

盛岡市に於いても1,400万円で6,697万円の、費用対効果を見込んでいるそうです。

### 3、まとめ

どこの自治体でも、滞納整理は頭の痛い問題です。頭を抱えるだけで、何もしないよりは、した方が良いのに決まっています。

そこで考えたのが、市税コールセンターなのだと思います。最近、固定電話に掛かってくるのは、何処かのセールスばかりです。携帯電話依存が多い時代、レトロな電話で、巧みな話術で督促、きっと効果有りますよね。

昭和40年前半までは、税金滞納者は、殆んどいなかったと、記憶しています。

高度成長時代頃より、人間の生き方と共に、税に対する考え方も変わって来たのかと思われまます。

そんな中、権利ばかり主張し、納税の義務を果たさない人も多い中での市税コールセンター、伊勢崎市に於いても実施可能に思います。

正直者が馬鹿を見る、真面目な人が報われない世の中だけは、したくないですからね。

ずる賢い人でなく、賢く生きてこそその人生ではと思い感想と致します。